

5 交通

(1) 状況

交通は、JR飯田線及び中央自動車道が南北に走り、国道6路線（151,152,153,256,418,474号）、主要地方道13路線、一般県道36路線が管内を走っています。

管内の路線は未改良区間が多いため、生活基盤の一つである道路交通網の一層の整備促進が求められています。

(2) 三遠南信自動車道

自動車専用道路である国道474号三遠南信自動車道の飯喬道路（総延長22.1km）のうち、飯田山本IC～天龍峡ICの延長7.2kmは平成20年4月に暫定2車線で開通しました。

龍江IC～飯田上久堅・喬木富田ICの延長3.4kmは、平成30年3月に開通しました。

天龍峡IC～龍江ICの延長4.0kmは、令和元年11月17日に開通しました。

飯田上久堅・喬木富田IC～喬木ICの延長7.5kmは早期開通に向けて鋭意工事が進められています。

南信濃で整備を進めている青崩峠道路（延長5.9km）では、平成31年3月から長野県側及び静岡県側でトンネル本坑の掘削に着手しており、鋭意工事が進められています。

(3) リニア中央新幹線

リニア中央新幹線は、東京都から甲府市附近、赤石山脈（南アルプス）中南部、名古屋市附近、奈良市附近を経由して大阪市までの約438kmを超電導磁気浮上式リニアモーターカーによって結ぶ新たな新幹線です。

全国新幹線鉄道整備法に基づき、平成23年5月に国土交通大臣が整備計画を決定し、建設・営業主体にJR東海が指名されました。平成26年10月に、JR東海の工事実施計画（品川・名古屋間）が国土交通大臣に認可され、建設段階に入りました。

長野県内の路線延長は約52.9km（トンネル48.5km、地上部分4.4km）で、飯田市上郷地区に長野県駅が設置されます。平成28年11月に南アルプストンネル（長野工区）の安全祈願・起工式が行われ、同工区の除山非常口、小渋川非常口、釜沢非常口などにおいて掘削が進められるなど、本県における建設工事は本格化しています。本県では、平成27年4月にJR東海と「中央新幹線（品川・名古屋間）の建設と地域振興に関する基本合意書」を締結し、中央新幹線を活用した地域づくりを着実に実施し、もって地域の振興に資するため、相互に連携・協力して取り組んでいます。

南信州地域JR飯田線
利用促進パンフレット



(R2.11改訂)

南信州地域周辺（中部圏域）の交通網整備

